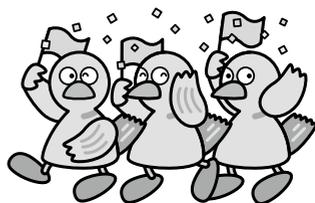


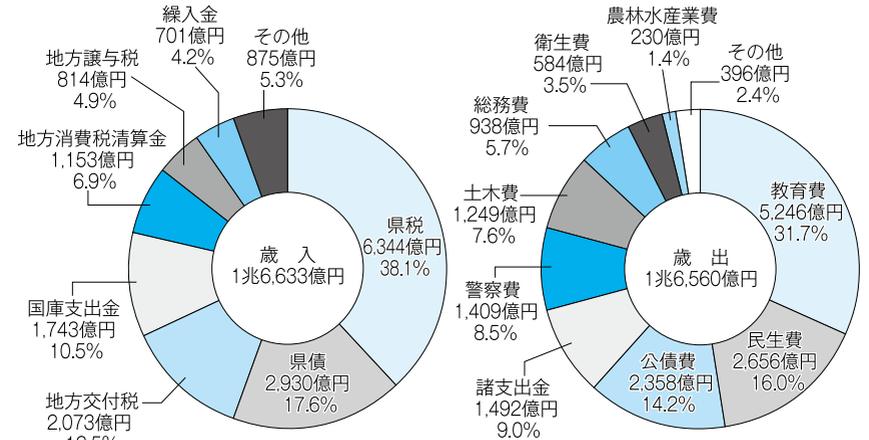
VI 地方行政

項 目	データ	全国順位
普通会計決算額(歳入)	1,659,517百万円	7
普通会計決算額(歳出)	1,647,799百万円	7
経常収支比率	93.3%	11
財政力指数	0.75525	6
県民1万人当たり職員数(一般行政部門)	11.5人	1

～本編より抜粋～



単 位	* 1 普通会計決算額 (歳入)		* 2 普通会計決算額 (都道府県税収入総額)		* 3 普通会計決算額 (歳出)		* 4 普通会計決算額 (実質収支)	
	百万円	順位	百万円	順位	百万円	順位	百万円	順位
全 国	50 066 112		14 026 237		49 059 536		354 641	
北海道	2 570 659	3	544 485	8	2 564 328	3	1 457 40	40
青森県	743 010	24	137 474	26	727 316	24	2 958 35	35
岩手県	731 181	25	114 788	32	688 285	28	14 932 4	4
宮城県	856 381	17	237 822	14	817 486	17	16 908 3	3
秋田県	659 031	30	90 996	41	648 925	30	3 147 34	34
山形県	591 484	34	100 503	37	580 464	33	3 377 32	32
福島県	858 468	16	195 867	21	826 406	16	697 45	45
茨城県	1 067 310	12	324 881	11	1 057 229	12	4 364 27	27
栃木県	797 408	21	224 951	16	774 338	21	8 311 8	8
群馬県	814 043	20	211 583	18	800 398	19	4 691 25	25
埼玉県	1 659 517	7	700 317	5	1 647 799	7	5 117 21	21
千葉県	1 611 004	8	637 723	6	1 590 676	8	6 903 12	12
東京都	6 170 701	1	2 284 051	1	6 012 273	1	100 112 1	1
神奈川県	1 879 312	6	999 548	2	1 863 346	6	6 789 13	13
新潟県	1 103 793	11	232 917	15	1 076 338	11	4 961 23	23
富山県	575 387	35	115 938	31	552 819	35	1 278 41	41
石川県	543 309	38	123 316	29	532 413	38	754 44	44
福井県	504 267	40	95 641	38	495 635	40	4 143 29	29
山梨県	499 459	41	92 117	40	472 744	41	4 770 24	24
長野県	883 612	15	213 527	17	866 315	15	5 867 16	16
岐阜県	768 838	22	209 899	19	749 962	22	6 920 11	11
静岡県	1 141 769	10	431 959	10	1 123 935	10	6 975 10	10
愛知県	2 166 393	5	926 685	4	2 149 964	5	7 951 9	9
三重県	698 747	29	205 248	20	674 922	29	6 079 15	15
滋賀県	519 174	39	148 471	24	512 253	39	1 155 42	42
京都府	893 582	14	264 845	13	886 713	14	437 47	47
大阪府	3 681 931	2	985 968	3	3 641 845	2	27 409 2	2
兵庫県	2 235 045	4	573 906	7	2 221 660	4	669 46	46
奈良県	480 976	43	119 144	30	469 086	42	5 280 19	19
和歌山県	550 916	37	85 309	42	539 469	37	4 455 26	26
鳥取県	371 512	47	51 470	47	355 848	47	8 896 7	7
島根県	566 854	36	62 941	45	547 088	36	4 323 28	28
岡山県	728 511	26	192 772	22	716 989	25	1 897 38	38
広島県	961 534	13	300 081	12	945 113	13	5 485 18	18
山口県	707 878	28	141 449	25	693 920	26	4 996 22	22
徳島県	494 704	42	75 919	44	465 808	43	9 369 6	6
香川県	440 456	46	106 102	35	426 767	46	6 222 14	14
愛媛県	630 190	32	132 132	28	618 357	32	3 365 33	33
高知県	451 258	45	61 389	46	431 835	45	5 134 20	20
福岡県	1 610 614	9	492 230	9	1 584 229	9	1 836 39	39
佐賀県	470 394	44	79 061	43	451 023	44	5 837 17	17
長崎県	717 187	27	110 775	33	693 582	27	1 112 43	43
熊本県	835 842	18	151 719	23	808 369	18	14 475 5	5
大分県	592 458	33	106 255	34	578 032	34	2 551 36	36
宮崎県	762 288	23	93 895	39	748 330	23	2 258 37	37
鹿児島県	820 406	19	136 871	27	796 744	20	4 100 30	30
沖縄県	647 317	31	101 296	36	632 157	31	3 922 31	31



注)1億円未満四捨五入。
資料：県会計管理課HP

歳入総額・歳出総額ともに2年連続で減少

県会計管理課によると、平成23年度の一般会計決算は、歳入総額が1兆6,633億円、歳出総額が1兆6,560億円で、歳入は283億円(1.7%)、歳出は258億円(1.5%)とも前年度を下回り、実質収支は39億円の黒字を確保しました。

県税収入は4年連続で減少

主な歳入の状況は、県税収入が6,344億円で、前年度より64億円(1.0%)減少しました。これは、個人所得の減少による個人県民税の減収、東日本大震災の影響による法人二税の減収などによります。県債収入は、臨時財政対策債の発行額の減少などにより、前年度より301億円(9.3%)減少し、2,930億円となりました。歳入総額に占める割合が17.6%と、対前年度1.5ポイントも減少しました。

また、地方交付税は2,073億円で、基準財政収入額の増加に伴い、19億円(0.9%)減少しました。

主な歳出の状況は、民生費が2,656億円で、後期高齢者医療対策費など老人福祉費が増加したことなどにより、103億円(4.0%)増加しました。労働費は166億円で、緊急雇用創出基金市町村補助事業費が増加したことなどにより、39億円(31.2%)増加しました。

一方、教育費は5,246億円で、総合教育センター整備工事の完了や教育関係職員の退職手当の減少などにより、64億円(1.2%)減少しました。公債費も県債の償還額の減少により、151億円(6.0%)減少し、2,358億円でした。

平成22年度実質収支額は51億円の黒字

「都道府県決算状況調」によると、平成22年度普通会計決算の歳入は1兆6,595億円、歳出は1兆6,478億円でした。歳入から歳出を差し引いた額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は51億円の黒字でした。

資料出所
* 1,3,4 「都道府県決算状況調」総務省HP
* 2 「都道府県財政指数表」総務省HP

調査時点又は期間
平成22年度
平成22年度
調査周期
毎年
毎年

59 財政指標・予算

単 位	* 1 標準財政規模		* 2 財政力指数		* 3 経常収支比率		* 4 普通会計当初予算額	
	百万円	順位	—	順位	%	順位	百万円	順位
全 国	26 991 443		0.48985		90.9		49 738 091	
北海道	1 436 118	3	0.38763	31	94.2	4	2 407 646	3
青森県	394 028	26	0.31597	37	92.3	18	704 566	23
岩手県	402 470	25	0.30555	38	91.4	21	1 118 993	13
宮城県	483 555	17	0.52186	17	88.2	40	1 669 778	7
秋田県	339 599	31	0.28535	44	87.1	43	600 030	31
山形県	337 687	32	0.32254	36	90.2	26	604 521	30
福島県	488 921	16	0.44511	24	94.2	4	1 559 531	11
茨城県	607 404	11	0.63836	8	90.2	26	1 074 036	15
栃木県	419 442	21	0.59471	12	87.0	44	766 356	21
群馬県	416 868	23	0.57919	14	91.5	20	771 973	19
埼玉県	1 092 565	6	0.75525	6	93.3	11	1 649 861	8
千葉県	970 627	8	0.77398	4	92.6	14	1 613 942	9
東京都	2 855 879	1	1.16170	1	94.5	1	6 437 059	1
神奈川県	1 287 804	4	0.93772	3	93.9	6	1 821 702	6
新潟県	602 270	12	0.40404	29	92.4	16	1 256 004	12
富山県	290 907	38	0.45902	23	92.2	19	536 817	36
石川県	303 366	37	0.47197	20	92.6	14	536 569	37
福井県	257 303	44	0.40765	27	91.1	23	469 711	40
山梨県	263 298	42	0.40244	30	88.2	40	460 688	42
長野県	514 110	14	0.46074	22	89.7	30	824 205	18
岐阜県	454 906	19	0.52140	18	93.6	9	728 386	22
静岡県	695 474	10	0.71483	7	89.7	30	1 105 825	14
愛知県	1 236 402	5	1.00383	2	94.5	1	2 143 805	4
三重県	409 143	24	0.57393	16	91.0	24	642 812	28
滋賀県	308 666	36	0.57647	15	89.1	36	481 639	39
京都府	511 713	15	0.60998	9	93.6	9	870 392	17
大阪府	1 499 341	2	0.75983	5	91.3	22	2 886 637	2
兵庫県	1 036 314	7	0.60571	10	94.5	1	2 091 670	5
奈良県	309 645	35	0.41932	26	88.3	39	468 295	41
和歌山県	290 509	39	0.32798	34	89.1	36	569 139	34
鳥取県	219 583	47	0.26237	45	86.5	46	325 903	47
島根県	288 171	40	0.23630	47	89.3	34	527 832	38
岡山県	417 202	22	0.51404	19	89.4	32	675 398	25
広島県	575 768	13	0.58404	13	89.4	32	901 810	16
山口県	370 700	28	0.43720	25	89.3	34	667 884	27
徳島県	262 501	43	0.30401	40	89.9	29	455 409	43
香川県	255 641	46	0.46740	21	90.2	26	418 550	46
愛媛県	354 050	29	0.40601	28	87.6	42	583 458	32
高知県	277 958	41	0.23995	46	92.4	16	425 601	45
福岡県	902 460	9	0.59674	11	92.9	13	1 560 841	10
佐賀県	256 073	45	0.32403	35	85.9	47	427 154	44
長崎県	384 709	27	0.29687	41	93.7	8	687 737	24
熊本県	430 259	20	0.37039	32	90.8	25	630 225	29
大分県	325 611	34	0.35288	33	93.9	6	570 120	33
宮崎県	328 612	33	0.30522	39	87.0	44	566 662	35
鹿児島県	473 580	18	0.29206	42	93.3	11	769 429	20
沖縄県	352 233	30	0.28918	43	88.5	38	671 490	26

資料出所
* 1～3 「都道府県決算状況調」総務省HP
* 4 「都道府県展望」全国知事会HP

調査時点又は期間
平成22年度
平成24年度
調査周期
毎年
毎年

財政力指数8年ぶりに減少

「都道府県決算状況調」によると、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3か年(平成20～22年度)の平均値である平成22年度の財政力指数は、0.75525で全国第6位でした。基準財政収入額が、法人事業税の減収などにより減少したため、財政力指数は8年ぶりに減少しました。

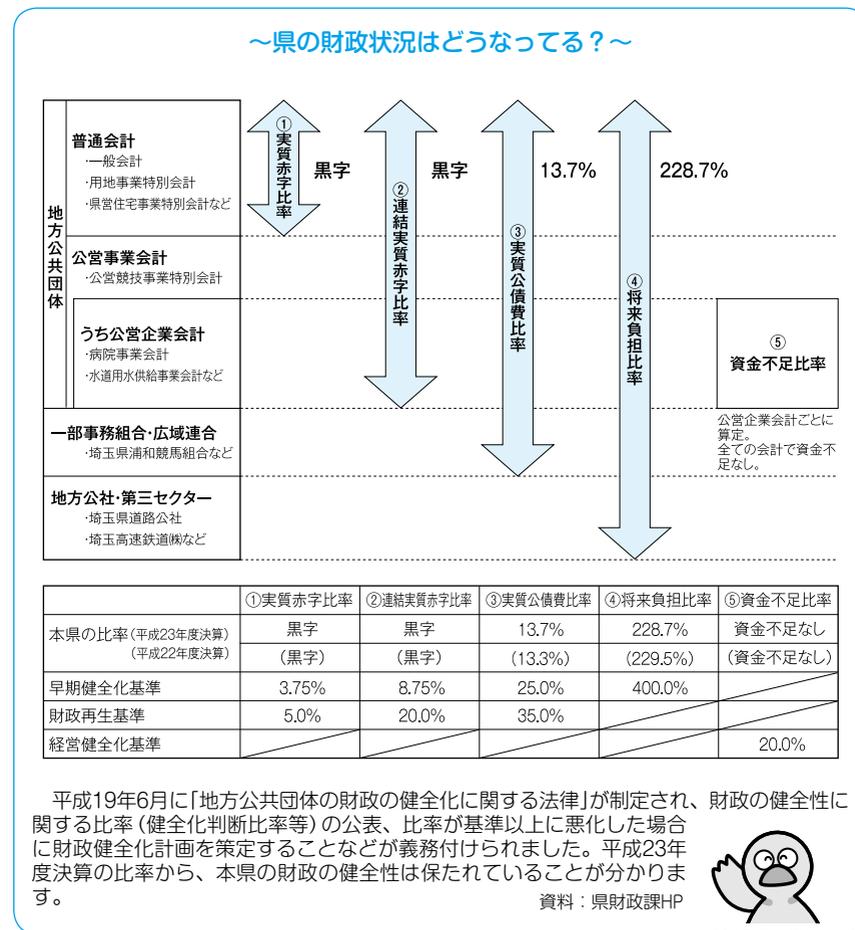
経常収支比率は93.3%

県税や地方交付税などの経常的収入に対して、人件費や公債費など経常的経費が充てられている割合を示す経常収支比率は、前年度の97.1%から93.3%に低下しました。

「都道府県展望」によると、平成24年度当初普通会計予算は、1兆6,499億円で前年度より0.8%減少しました。

※表*2,3の全国値は各都道府県値の単純平均です。

※表*4の熊本県は骨格予算です。



平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定され、財政の健全性に関する比率(健全化判断比率等)の公表、比率が基準以上に悪化した場合に財政健全化計画を策定することなどが義務付けられました。平成23年度決算の比率から、本県の財政の健全性は保たれていることが分かります。

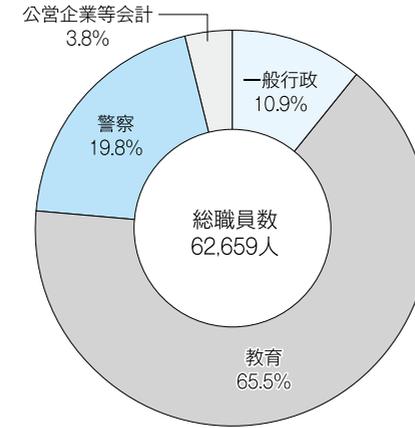


おしえてコバトン

60 都道府県職員

部門別職員数構成比 (平成23年4月1日現在)

単 位	* 1 職員数 (一般行政部門)		* 2 県民1万人当たり 職員数 (一般行政部門)		* 3 職員数 (教育部門)		* 4 職員数 (警察部門)	
	人	順位	人	順位	人	順位	人	順位
全 国	237 468		23.4		900 854		282 023	
北海道	13 879	2	38.5	43	48 166	4	11 807	8
青森県	4 018	25	28.7	24	12 724	28	2 596	30
岩手県	3 969	27	29.5	26	12 882	27	2 419	33
宮城県	4 808	16	36.4	41	18 182	14	4 222	15
秋田県	3 524	35	32.1	33	9 509	36	2 309	35
山形県	4 212	22	36.0	40	10 340	32	2 300	36
福島県	5 584	12	27.2	20	18 013	16	3 610	21
茨城県	5 055	15	17.0	7	23 021	11	5 259	13
栃木県	4 540	18	22.7	12	15 607	21	3 727	20
群馬県	3 966	28	19.8	9	15 874	20	3 846	18
埼玉県	6 853	8	11.5	1	41 018	6	12 392	6
千葉県	6 843	9	13.0	2	39 354	7	12 623	5
東京都	18 491	1	14.6	3	62 625	1	46 721	1
神奈川県	7 374	6	23.0	13	48 584	3	16 850	3
新潟県	5 899	10	37.4	42	20 437	12	4 617	14
富山県	3 423	37	31.3	30	9 015	39	2 243	39
石川県	3 360	39	28.9	25	9 216	38	2 287	38
福井県	2 873	46	35.6	37	7 716	45	1 973	41
山梨県	3 043	45	35.3	36	8 267	40	1 918	43
長野県	5 194	14	24.1	14	18 113	15	3 841	19
岐阜県	4 074	24	19.6	8	16 300	18	3 856	17
静岡県	5 688	11	25.2	17	25 047	10	6 861	11
愛知県	8 617	3	16.9	6	46 795	5	14 251	4
三重県	4 491	19	24.3	15	14 621	23	3 406	25
滋賀県	3 064	44	22.0	10	11 642	31	2 523	31
京都府	4 152	23	35.6	38	17 154	17	7 008	10
大阪府	8 057	4	15.1	4	51 891	2	23 092	2
兵庫県	6 909	7	16.9	5	36 784	8	12 260	7
奈良県	3 125	41	22.2	11	9 675	35	2 745	29
和歌山県	3 546	34	34.5	35	9 300	37	2 470	32
鳥取県	3 066	43	51.7	47	5 963	47	1 438	47
島根県	3 397	38	47.2	46	7 827	44	1 796	46
岡山県	3 985	26	32.0	32	15 119	22	3 928	16
広島県	4 625	17	27.3	21	19 336	13	5 652	12
山口県	3 923	29	26.9	19	12 114	30	3 485	23
徳島県	3 248	40	41.0	44	7 522	46	1 823	45
香川県	2 771	47	27.4	22	8 249	41	2 094	40
愛媛県	3 861	31	26.6	18	12 707	29	2 776	28
高知県	3 482	36	45.4	45	7 999	43	1 892	44
福岡県	7 895	5	29.7	28	30 950	9	11 295	9
佐賀県	3 070	42	35.8	39	8 222	42	1 945	42
長崎県	4 267	21	29.6	27	12 946	26	3 497	22
熊本県	4 458	20	24.3	16	14 519	24	3 456	24
大分県	3 811	32	31.7	31	10 244	33	2 367	34
宮崎県	3 787	33	32.9	34	10 014	34	2 296	37
鹿児島県	5 272	13	30.7	29	15 940	19	3 378	26
沖縄県	3 919	30	27.7	23	13 311	25	2 873	27



資料：「地方公共団体定員管理調査結果」総務省HP

さらに進む職員定数の削減

「地方公共団体定員管理調査結果」によると、平成23年4月1日現在の総職員数は、前年より499人減少して62,659人でした。

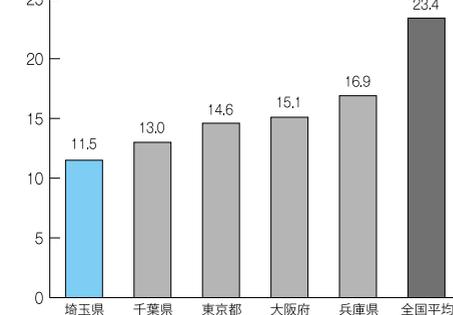
この総職員数を総務省定員管理調査に基づいた区分(部門別)で見ると、一般行政部門6,853人(前年比354人減)、教育部門41,018人(同296人減)、警察部門12,392人(同70人増)、公営企業等会計部門2,396人(同81人増)でした。

一般行政部門の県民1万人当たりの職員数は、平成22年4月1日現在の12.1人からさらに減少し、11.5人で引き続き全国第1位でした。

※表*2は政令指定都市人口を除いた都道府県人口から算出しました。但し、岩手県・宮城県・福島県については、東日本大震災の影響で平成22年3月末の人口を使用しました。また、順位は数値の小さいものを1位として順位付けしています。

～「最小・最強の県庁」の実現を目指して～

県民1万人当たりの都道府県職員数(一般行政部門)
(平成23年4月1日現在)



本県では、今後取り組むべき課題に対して少ない費用で大きな効果を上げる「費用対効果」の徹底的な追求という基本的方向の下、「県民サービスの『質』の改革」、「県庁の仕事の『しくみ』の改革」、「県庁の『体質』の改革」に取り組んでいます。現在、県民1万人当たり全国一少ない職員数で効率的な運営を行っていますが、今後も「最小・最強の県庁」の実現を目指して定数の更なるスリム化を図り、県民1万人当たりで全国一少ない職員数を堅持します。



おしえてコバタン

資料出所
* 1,3,4 「地方公共団体定員管理調査結果」総務省HP
* 2 県改革推進課

調査時点又は期間
平成23年4月1日
平成23年4月1日

調査周期
毎年
毎年

資料：県改革推進課

◆市町村合併の状況◆

「明治の大合併（明治21年から明治22年までに市町村数が71,314から約5分の1の15,859に減少）」、「昭和の大合併（昭和28年から昭和36年までに市町村数が9,868から約3分の1の3,472に減少）」を経て、平成11年3月31日現在、全国で3,232あった市町村数は、平成25年1月1日現在では約半分の1,719になりました。最も合併が進んだのは長崎県で79あった市町村の数が21になり、減少率は73.4%でした。本県では、平成11年3月31日現在、92あった市町村の数は平成25年1月1日現在では63になり、減少率は31.5%でした。

都道府県名	平成11年3月31日現在 (a)				平成25年1月1日現在 (b)				(a)から(b) の減少率 (%)
	市	町	村		市	町	村		
北海道	212	34	154	24	179	35	129	15	15.6
青森県	67	8	34	25	40	10	22	8	40.3
岩手県	59	13	30	16	33	13	15	5	44.1
宮城県	71	10	59	2	35	13	21	1	50.7
秋田県	69	9	50	10	25	13	9	3	63.8
山形県	44	13	27	4	35	13	19	3	20.5
福島県	90	10	52	28	59	13	31	15	34.4
茨城県	85	20	48	17	44	32	10	2	48.2
栃木県	49	12	35	2	26	14	12	-	46.9
群馬県	70	11	33	26	35	12	15	8	50.0
埼玉県	92	43	38	11	63	40	22	1	31.5
千葉県	80	31	44	5	54	37	16	1	32.5
東京都	40	27	5	8	39	26	5	8	2.5
神奈川県	37	19	17	1	33	19	13	1	10.8
新潟県	112	20	57	35	30	20	6	4	73.2
富山県	35	9	18	8	15	10	4	1	57.1
石川県	41	8	27	6	19	11	8	-	53.7
福井県	35	7	22	6	17	9	8	-	51.4
山梨県	64	7	37	20	27	13	8	6	57.8
長野県	120	17	36	67	77	19	23	35	35.8
岐阜県	99	14	55	30	42	21	19	2	57.6
静岡県	74	21	49	4	35	23	12	-	52.7
愛知県	88	31	47	10	54	38	14	2	38.6
三重県	69	13	47	9	29	14	15	-	58.0
滋賀県	50	7	42	1	19	13	6	-	62.0
京都府	44	12	31	1	26	15	10	1	40.9
大阪府	44	33	10	1	43	33	9	1	2.3
兵庫県	91	21	70	-	41	29	12	-	54.9
奈良県	47	10	20	17	39	12	15	12	17.0
和歌山県	50	7	36	7	30	9	20	1	40.0
鳥取県	39	4	31	4	19	4	14	1	51.3
島根県	59	8	41	10	19	8	10	1	67.8
岡山県	78	10	56	12	27	15	10	2	65.4
広島県	86	13	67	6	23	14	9	-	73.3
山口県	56	14	37	5	19	13	6	-	66.1
徳島県	50	4	38	8	24	8	15	1	52.0
香川県	43	5	38	-	17	8	9	-	60.5
愛媛県	70	12	44	14	20	11	9	-	71.4
高知県	53	9	25	19	34	11	17	6	35.8
福岡県	97	24	65	8	60	28	30	2	38.1
佐賀県	49	7	37	5	20	10	10	-	59.2
長崎県	79	8	70	1	21	13	8	-	73.4
熊本県	94	11	62	21	45	14	23	8	52.1
大分県	58	11	36	11	18	14	3	1	69.0
宮崎県	44	9	28	7	26	9	14	3	40.9
鹿児島県	96	14	73	9	43	19	20	4	55.2
沖縄県	53	10	16	27	41	11	11	19	22.6
合計	3 232	670	1 994	568	1 719	789	746	184	46.8

※愛知県みよし市、石川県野々市市、愛知県長久手市、埼玉県白岡市、千葉県大網白里市の単独市制施行を含みます。

資料：総務省HP